

【大東市企業紹介～明星金属工業様編～】

第1回は、「日本の金型を名実ともに世界一へ。」

明星金属工業(株)を紹介します！

～魂を込めた物づくり～

明星金属工業株式会社



明星金属工業株式会社:<http://www.meisei-metal.co.jp/>

同社は1950年の創業から、物づくりの根幹である金型業界、主に自動車部品用のプレス金型業界において、第一線で活躍しています。

本記事では上田幸司社長へインタビューを実施し、明星金属工業(株)の3つの柱と今後の事業展望および事業の秘訣をお伺いしましたので、その内容をお伝えします！

【日本の物づくりを支える金型事業】

明星金属工業(株)では金型技術の再活用、暗黙知の形式知化にいち早く着目、またダイハツ工業(株)はじめ自動車メーカーとの直接取引の中で求められる基準に追従するために早くから IT 化を推進してきました。

3次元モデル、シミュレーションの導入を進め、家業から企業を目指し、自社のノウハウを引き出せる・再現できる環境づくりに取り組んでいます。

現在「Smart Buildup Complete(SBC)プロジェクト」と銘打ち、高品質且つ短納期に対応するための取り組みを実施しています。

金型事業の詳細に関しましては、次の記事で詳しく深掘りします。

【企業育成×広報型営業】

上田社長は「金型業界をよくしたい想い」から、自社で培われたノウハウを他社へ伝えるべく、ダイハツ九州(株)と協業し「金型育成保全講座」を立ち上げました。

九州地域の企業へ金型保全の技術を伝える事業を展開し、自治体や教育機関を巻き込みながら事業を展開しています。

結果的に、より難易度の高い技術が求められる依頼が明星金属工業(株)に届くようになり、物づくりに加え、第二の柱として事業を進めています。

【教育活動×広報型採用】

地元の小・中学校、工科高校、大学と連携し一緒に教育プログラムを作ることで、製造業を知ってもらう教育活動を展開しています。

小学校 3、4 年生の教材に明星金属工業(株)が掲載され、地元の小学生は「金型」について勉強した上で工場見学に来ます。

さらに、小学校の卒業制作として絵を描いてもらい、工場を生徒たちの思い出になる場所として提供しています。



また、工科高校と連携し PDCA や PTS を学ぶ授業を一緒に作成。机上の学習だけでなく、実際の現場を体感しながら学ぶことができる環境を提供しています。

工科高校との連携結果として、量産ラインの現場に定点カメラを設置し、改善提案を実施。実際に効果があつた提案を導入するなど、実務的なメリットも多くあると、上田社長はおっしゃいます。

昨今、工業高校、および工業高校入学者数の減少や、大手企業へ求人が殺到する状況の中、採用活動はすぐに実を結ぶものではないことは承知しているといいます。

その中でも、明星金属工業(株)自身の地元での認知向上、並びに教育機関との連携を密に結ぶことにより、5年後、10年後の雇用安定、より事業を発展させていく体制構築を目指しています。

【世界と戦える金型メーカーを目指して】

今後大きな変化が求められる自動車業界の電動化に備えて、条件に対応できる金型作りをまずは徹底して取り組んでいくと上田社長はおっしゃいます。

具体的には上記 SBC プロジェクトを社内で浸透させていき、金型の試作から合格に至るまでのトライ&エラーを徹底強化、ますます技術力に磨きをかけていきます。

それに伴い教育体制、雇用、間接業務の効率化、財務体質の強化にも着手していきます。



次回記事は、SBC プロジェクトコアメンバーの技術部の方々へお話しをお伺いします。

乞うご期待！